

2025年度

事業計画書、収支予算書

並びに

資金調達及び設備投資の見込みを
記載した書類

公益財団法人

愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

目 次

1	事業計画書	1
2	収支予算書（正味財産増減予算書）	6
3	資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	9

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会

2025年度 事業計画書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

2026年の第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）（以下「第20回アジア競技大会」という。）及び第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）（以下「第5回アジアパラ競技大会」という。）の成功に向け、大会基本計画に基づき、一体的に準備に取り組み、各分野の事業を着実に推進する。

また、ハード・ソフト両面におけるアクセシブルな環境を整えるとともに、第20回アジア競技大会から第5回アジアパラ競技大会への移行に関する計画の調整を進める。

1 競技

- ・各国・地域が競技ごとの参加見込み選手人数を登録するエントリーバイナンバーを実施する（第20回アジア競技大会：2025年10月～2026年1月、第5回アジアパラ競技大会：2025年8月～2025年10月）。
- ・技術代表(TD)を招集するTDミーティングを2回開催し、競技を始めとした大会運営について協議・調整を行い、大会準備を進めていく。
- ・TD及びアジア・オリンピック評議会(OCA)と協議のうえ技術役員の数を決し、選任手続きを進めていく。
- ・アスリート委員会を開催し、アジア競技大会やアジアパラ競技大会等の経験者の知見や意見を汲み上げ、大会の準備・運営に反映させるとともに、大会の機運醸成を図る。
- ・2025年4月以降、競技団体が主催する大会を活用してテストイベントを実施し、大会の運営能力の向上を目指す。
- ・表彰式について、全会場・全競技に共通する統一的な基準を定める基本計画を策定し、OCA及びAPC（アジアオリンピック委員会）の承認を得る。また、基本計画を基に会場別に実施計画を策定し、大会時の運営体制構築に向けて、準備を進める。
- ・表彰式に使用する各種備品（表彰台・衣装・表彰状など）について、デザインを決定し、OCA及びAPCの承認を得た後、製造を開始する。
- ・入賞メダルのうち、第20回アジア競技大会のメダル製造を継続する
- ・入賞メダルリボン・ケースのデザインを決定し、OCA及びAPCの承認を得た後、製造を開始する。
- ・医事衛生実施計画をもとに、大会時の医療提供体制構築に向けて、関係機関と連携し準備を進める。

- ・関係機関と連携し、ドーピング検査体制を整える。

2 式典及び文化プログラム

- ・開閉会式については、演出の総合統括を交えながら、大会1年前までにOCAに提出する式典の詳細計画を完成させ、本番に向けた準備を進める。
- ・聖火リレーについては実施計画の策定を進め、その内容をもとに大会1年前までにOCAに計画を提出し、実施方法について承認を得る。
- ・聖火リレーに使用するトーチ等備品のデザインを決定し、OCA及びAPCの承認を得た後、製造を開始する。
- ・文化プログラム認証制度である「Aichi-Nagoya 2026 公認文化プログラム」について、積極的に周知し、大会の機運醸成を図る。

3 競技会場施設

- ・2024年に策定した会場運営計画について、テストイベント等の機会を踏まえて計画内容を更新する。
- ・競技会場仮設整備の実施設計を実施する。

4 宿泊

(1) 選手団宿泊施設

- ・選手団規模、競技日程等を考慮し、OCA、APC等とも協議しながら、適宜、配宿シミュレーションを行うとともに、各宿泊施設との交渉及び契約の締結を行う。
- ・宿泊施設、ガーデンふ頭・金城ふ頭における選手団宿泊拠点における具体的な運営方法を検討し、関係各所と調整・交渉を実施する。
- ・宿泊管理センターを設置し、大会関係者の宿泊管理を実施する。
- ・選手団宿泊施設の具体的な運用方法について検討し、選手団宿泊施設運営マニュアルを作成する。

(2) 大会関係者（選手・チーム役員以外）宿泊施設

- ・関係者ごとの規模、日程等を考慮し、OCA、APC等とも協議しながら、適宜、配宿シミュレーションを行うとともに、各宿泊施設との交渉及び契約の締結を行う。
- ・宿泊施設における具体的な運営方法を検討し、関係各所と調整・交渉を実施する。
- ・宿泊管理センターを設置し、大会関係者の宿泊管理を実施する。

5 競技会場要員

- ・ボランティア運営基本計画に基づき、採用選考及び各種研修を実施するとともに、ボランティアの具体的な配置プランを決定する。
- ・組織委員会の職員として基本的な共通知識・能力の習得や各業務における専門的な知識・能力を習得するための職員研修（特に、業務に必要となるアジアパラ競技大会の理解を深めるための研修）を実施する。

6 競技大会の物品

- ・レートカードカタログの作成を進め、OCA及びAPCの承認後に発行し、注文を受け付ける。

7 輸送

- ・大会関係者輸送に関するバス及び乗用車の運行計画の策定、車両・運転手確保及び運行管理体制の検討を進める。
- ・輸送デポ整備に向けた実施設計及び工事を進める。
- ・配宿シミュレーションを踏まえた輸送拠点間の輸送ルートの検討及び関係機関との協議等を進める。

8 情報技術

- ・大会情報システムについて、OCAと協議し作成したITガイドラインに沿って設計及び開発し、運用を行う。

9 メディア

- ・放送分野について、ホスト放送局とともに国際放送センター（IBC）や各競技会場における国際映像制作体制などの検討を進める。また、世界放送者会議を開催し、放送関係者向けのサービス内容の説明や会場視察を行う。
- ・報道分野について、メインプレスセンター（MPC）及び競技会場におけるプレスオペレーション計画を策定・更新する。また、世界報道会議を開催するとともに、メディア向けハンドブックの作成を行う。
- ・IBCとMPCを統合したメインメディアセンター（MMC）について、2024年度に作成した要求水準書や基本設計図に基づき、実施設計を行う。

10 国際関係

- ・OCA及びAPCの総会・理事会に出席し、大会の準備状況を説明する。
- ・調整委員会の開催を通じて、大会の準備状況を説明するとともに、OCA及びAPCからの指摘事項に対応することで、大会開催準備の着実な推進を図る。

- ・選手団団長セミナーを開催し、大会の準備状況や選手団サービスの説明、競技会場の視察を実施する。
- ・選手団団長ガイドを作成し、大会への参加に関する重要情報や大会に関連する各種サービスの情報を提供する。
- ・ブータン及びタジキスタンで開催されるOCA地域フォーラムに参加し、大会開催に向けた準備状況を報告する。

11 プロトコル

- ・各競技会場、宿泊施設等におけるプロトコルマニュアル（ハンドブック）の作成及びスタッフの教育を開始する。
- ・大会中の旗の掲揚方法について、各NOC/NPCへの確認を進め、具体的な計画を策定する。
- ・旗に関するマニュアル（ハンドブック）を作成する。
- ・参加国・地域の国歌の確認、収集、使用計画を策定する。

12 資格認定

- ・ア kredィテーションガイドの作成を行い、2025年11月から順次ア kredィテーションカードの申請を開始する。

13 警備

- ・警察、海上保安庁、警備会社等の関係機関と警備員の配置体制等の実務的協議を重ね、競技会場や非競技会場における警備計画のブラッシュアップを図る。
- ・テロや自然災害を見据えた訓練の実施に向けた調整を進める。
- ・開催都市契約に基づき、警備ガイドラインをAPCへ提出する（OCAには参考送付）。

14 大会プロモーション

- ・大会ホームページ、SNS、マスコット、公式アンバサダー等を活用した愛知・名古屋大会のPRを行う。
- ・大会1年前のタイミングやピクトグラム、競技プログラムの発表などの時機をとらえてPRイベントや交通広告等のプロモーションを実施する。
- ・OCA主催のファンランを始め、海外で開催される国際イベントでPRブースを出展するなど、海外向け大会プロモーションに取り組む。

15 マーケティング

- ・パートナー候補企業へ引き続きセールスを行い、パートナーシップ契約を締結する。

- ・ライセンサーによる公式ライセンスグッズの更なる開発を行う。
- ・オフィシャルショップでの公式ライセンスグッズの販売を行う。
- ・大会ピクトグラムを制作・公表する。
- ・ビジュアルアイデンティティ（統一された一貫性のあるデザイン）を創作し、大会に関連する多種多様なアイテムに展開するルック（装飾）を開発する。
- ・スポンサー権利保護のため、各競技会場の既設看板等のマスキングを行うクリーンベニューの基本計画及び実施計画を策定する。
- ・策定したチケットティング計画に基づき、チケットシステムの構築等チケット販売に向けて取り組む。

【参考】開催都市事業

- ・聖火リレーについて、実施に係る運営計画策定、使用する備品の製造及び実施準備を行う。
- ・競技会場や練習会場、テストイベント実施会場の確保を行う。
- ・競技会場電源整備等の実施設計を実施する。
- ・ボランティア運営基本計画に基づき、採用選考及び各種研修を実施する。
- ・競技会場通信インフラ整備の詳細設計及び機器の調達を実施する。
- ・マラソン等ロード競技沿道警備に係る県警、警備会社等の関係機関と警備員の配置体制等の実務的協議を重ね、競技会場や非競技会場における警備計画のブラッシュアップを図る。
- ・クリーンベニューの実施計画を策定する。
- ・パラスポーツ開発プログラムとして、パラスポーツの指導者を対象とした研究会を実施する。

公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会
2025年度 収支予算書（正味財産増減予算書）
（2025年4月1日から2026年3月31日まで）

（単位：千円）

科 目	公益目的事業会計		法人会計	合計
	一般会計	開催都市事業 特別会計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取負担金等	37,568,763	0	0	37,568,763
愛知県受取負担金	24,870,442	0	0	24,870,442
名古屋市受取負担金	12,435,222	0	0	12,435,222
民間助成金等	263,099	0	0	263,099
② 受取拠出金	796,121	0	140,279	936,400
公営競技受取拠出金	796,121	0	140,279	936,400
③ 事業収益	7,507,500	0	0	7,507,500
マーケティング収益	7,507,500	0	0	7,507,500
④ 開催都市事業受取負担金	0	941,635	0	941,635
開催都市事業受取負担金	0	941,635	0	941,635
経常収益計	45,872,384	941,635	140,279	46,954,298
(2) 経常費用				
① 事業費	22,029,372	941,635		23,000,869
給料手当	3,188,507			3,188,507
給与負担金	189,040			189,040
賞与引当金繰入額	261,369			261,369
法定福利費	589,948			589,948
福利厚生費	3,630			3,630
謝金	102,446			102,446
旅費交通費	196,555			196,555
燃料費	4,732			4,732
車両費	4,525			4,525
渉外費	963,098			963,098
会議費	326,992			326,992
消耗品費	30,194			30,194
印刷製本費	47,444			47,444
光熱水料費	14,821			14,821
支払手数料	5,305			5,305

通信運搬費	446, 998			446, 998
広告宣伝費	1, 565, 941			1, 565, 941
委託費	12, 093, 300			12, 093, 300
減価償却費	10, 008			10, 008
賃借料	235, 165			235, 165
保険料	4, 280			4, 280
消耗什器備品費	167, 829			167, 829
租税公課	690, 194			690, 194
廃棄物処理費	193			193
交際費	53			53
支払権利料	916, 667			916, 667
開催都市事業費		941, 635		941, 635
②管理費			176, 328	176, 328
役員報酬			200	200
給料手当			30, 485	30, 485
賞与引当金繰入額			5, 138	5, 138
法定福利費			16945	16, 945
福利厚生費			466	466
謝金			9, 815	9, 815
旅費交通費			7, 083	7, 083
燃料費			607	607
車両費			581	581
渉外費			5, 448	5, 448
会議費			5, 419	5, 419
消耗品費			3, 766	3, 766
印刷製本費			2, 470	2, 470
光熱水料費			1, 902	1, 902
支払手数料			374	374
通信運搬費			7, 665	7, 665
委託費			26, 447	26, 447
減価償却費			143	143
賃借料			28, 719	28, 719
消耗什器備品費			21, 524	21, 524
租税公課			967	967
研修費			132	132
廃棄物処理費			25	25
交際費			7	7
經常費用計	22, 059, 234	941, 635	176, 328	23, 177, 197
当期經常増減額	23, 813, 150	0	△ 36, 049	23, 777, 101

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	23,813,150	0	△ 36,049	23,777,101
一般正味財産期首残高	6,825,317	0	36,049	6,861,366
一般正味財産期末残高	30,638,427	0	0	30,638,467
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	1,500,000	0	0	1,500,000
開催都市事業受取負担金	0	6,708,350	0	6,708,350
一般正味財産への振替額	0	△ 941,635	0	△ 941,635
当期指定正味財産増減額	1,500,000	5,766,715	0	7,266,715
指定正味財産期首残高	2,003,000	0	0	2,003,000
指定正味財産期末残高	3,503,000	5,766,715	0	9,269,715
Ⅲ 正味財産期末残高	34,141,467	5,766,715	0	39,908,182

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類
(2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで)

1 資金調達の見込みについて

当期間中における資金調達の予定はありません。

2 設備投資の見込みについて

当期間中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

